

(様式1)

2026年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 001	提案機関名 畜産課
要望問題名 クロピラリドに耐性のあるトマト品種・レタス品種等の開発	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）】  ・近年、畜産農家において、堆肥の滞留が課題となっているとともに、耕種農家側でも堆肥を使わなくなったことによる地力低下が課題となっている。 ・地力低下には土づくりの効果がある牛ふん堆肥が有用であるが、クロピラリドに弱い作物については生育障害が出る可能性があるため、牛ふん堆肥を薦めることができない。 ・トマトやレタス等について、クロピラリドに耐性のある品種を開発することが出来れば、耕種農家も気兼ねせず牛ふん堆肥を使用することができ、地力向上が期待される。 一方で、畜産農家も堆肥の搬出先が増える事になり、堆肥滞留という課題が解消に向かうことが期待される。	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内      ③4～5年以内      ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター    ②畜産技術センター    ③水産技術センター    ④自然環境保全センター
備考 ・必要に応じて畜産技術センターとの連携をよろしくお願いします。	

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産技術部
対応区分	①実施    ②実施中    ③継続検討    ④実施済    ⑤調査指導対応    ⑥現地対応 <input checked="" type="checkbox"/> ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合)		
対応の内容等	トマトやレタス等においては、クロピラリド耐性に関する遺伝子は同定されていないため、品種育成は困難であり、実施不可といたします。		
解決予定年限	①1年以内      ②2～3年以内      ③4～5年以内      ④5～10年以内		
備考			